



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 東京コスモス電機株式会社
 コード番号 6772 URL <http://www.tocos-j.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 秀実
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 企画部長 (氏名) 小野沢 一実

TEL 046-253-2111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,621	△9.6	7	△45.4	△23	—	△18	—
28年3月期第1四半期	1,793	2.4	13	△39.3	33	48.8	47	515.4

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △165百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 91百万円 (327.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△1.18	—
28年3月期第1四半期	3.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,097	3,249	35.7
28年3月期	9,393	3,462	36.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,249百万円 28年3月期 3,462百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	3.00	3.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,600	△1.3	10	—	40	146.4	20	337.3	1.28
通期	7,280	1.7	30	—	110	—	70	—	4.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	15,812,500 株	28年3月期	15,812,500 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	134,410 株	28年3月期	134,110 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	15,678,165 株	28年3月期1Q	15,683,569 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足踏み状態が続きました。個人消費は、雇用情勢は改善しているものの、名目賃金の伸び悩みや消費者マインドの悪化から低調に推移しました。企業業績は、円高や新興国経済の減速の影響で踊り場を迎え、設備投資も回復ペースが鈍化しました。米国では個人消費を中心に再拡大傾向が見られたものの、欧州では英国のEU離脱や南欧諸国の金融不安から不透明感が続き、中国・アジアなど新興国においては緩やかな減少傾向が続きました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、携帯通信端末や電源・建設機械向けなどの需要減を主因に、受注が減少しました。地域別では、欧州を除く全地域で前年同期比マイナス成長となり、特に日本・中国で2桁減となりました。

このような情勢下、当社グループは新製品の開発や時代のニーズに即した製品の提供につとめ、営業活動を強化してまいりました。非接触ポジションセンサや半固定可変抵抗器、車載用センサ基盤などで需要を創出した一方で、主力の車載用接触式ポジションセンサが新製品へ切替わる前で大幅減収となったことや前年同四半期末比16%の円高となった影響で海外子会社の売上が円換算で大きく減少したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,621百万円（前年同四半期比9.6%減）となりました。なお、売上高の減少率9.6%の内、約7%が円高による目減り分であります。

利益面につきましては、新製品の立上げコストが大幅に増加したことや円高の影響などにより、営業利益7百万円（前年同四半期比45.4%減）、経常損失は外貨建て預金などの為替差損45百万円が発生したことを主因に23百万円（前年同四半期は33百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、18百万円（前年同四半期は47百万円の利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①可変抵抗器

可変抵抗器は、数量面では中国等新興国の景気減速の影響により前年同四半期比微減で推移しましたが、金額面では外貨建て取引が多いため円建てで目減りし、売上高は12.9%減少し838百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、円高による減益の一部を製品構成の見直しで吸収し、120百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

②車載用電装部品

車載用電装部品は、車載用非接触式ポジションセンサが好調に推移しましたが、主力の接触式ポジションセンサや農機・建機向けセンサが前年の反動で大きく減少したことから、売上高は691百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。しかし、生産工程や原材料の見直しにより、セグメント利益（営業利益）は35百万円（前年同四半期は3百万円の損失）となりました。

③その他

混成集積回路が欧州の環境関連向けで在庫調整が続いたこと、またTWE無線モジュールの販売を終了しましたが、設備販売が増加したことから、その他部門は91百万円（前年同四半期比15.9%増）、セグメント利益（営業利益）は増収効果で7百万円（前年同四半期比32.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ295百万円減少し9,097百万円となりました。流動資産は307百万円減少し4,857百万円となりました。主な要因は、円高による目減りを主因とする現預金240百万円や売掛債権102百万円の減少とたな卸資産132百万円等の増加の差額です。固定資産は、設備投資に伴う建物等の増加と減価償却による減少がほぼ見合い、前期末並みの4,174百万円となりました。なお、中国現地法人の開業費65百万円を繰延資産に計上しました。

負債は、前連結会計年度末に比べて82百万円減少し、5,848百万円となりました。主な要因は、長短借入金等の有利子負債が10百万円減少したことや流動負債その他に含まれる未払金が73百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて212百万円減少し3,249百万円となりました。これは主に、配当や親会社株主に帰属する四半期純損失に伴う利益剰余金65百万円やその他有価証券評価差額金21百万円及び為替換算調整勘定130百万円がそれぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月16日付の決算短信で公表いたしました連結業績予想につきましての変更はありません。ただし、事業環境が大きく変化し、今回の業績予想に見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額はそれぞれ軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,698,474	1,458,399
受取手形及び売掛金	1,571,646	1,498,988
電子記録債権	425,647	396,290
商品及び製品	454,481	541,131
仕掛品	237,354	253,224
原材料及び貯蔵品	470,258	500,161
繰延税金資産	86,949	77,106
その他	226,518	137,873
貸倒引当金	△6,075	△5,613
流動資産合計	5,165,256	4,857,563
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,366,189	1,366,189
その他(純額)	1,936,024	1,945,263
有形固定資産合計	3,302,214	3,311,452
無形固定資産	19,635	18,157
投資その他の資産	845,563	844,864
固定資産合計	4,167,413	4,174,474
繰延資産		
開業費	60,385	65,893
社債発行費	343	—
繰延資産合計	60,728	65,893
資産合計	9,393,398	9,097,931
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	411,821	411,813
電子記録債務	423,619	415,660
短期借入金	1,131,209	1,118,786
1年内償還予定の社債	22,500	—
1年内返済予定の長期借入金	537,565	515,161
未払法人税等	32,871	22,560
賞与引当金	107,622	94,356
その他	517,093	460,405
流動負債合計	3,184,304	3,038,745
固定負債		
長期借入金	991,861	1,056,079
役員退職慰労引当金	33,016	34,489
退職給付に係る負債	1,131,587	1,142,733
再評価に係る繰延税金負債	315,133	315,133
その他	275,247	261,108
固定負債合計	2,746,845	2,809,542
負債合計	5,931,149	5,848,287

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,277,000	1,277,000
資本剰余金	3	—
利益剰余金	1,622,397	1,556,811
自己株式	△21,375	△21,408
株主資本合計	2,878,026	2,812,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,351	25,737
土地再評価差額金	735,310	735,310
為替換算調整勘定	△55,206	△186,164
退職給付に係る調整累計額	△143,232	△137,642
その他の包括利益累計額合計	584,223	437,240
純資産合計	3,462,249	3,249,643
負債純資産合計	9,393,398	9,097,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,793,154	1,621,521
売上原価	1,432,936	1,263,855
売上総利益	360,218	357,666
販売費及び一般管理費	346,495	350,174
営業利益	13,722	7,492
営業外収益		
受取利息	165	729
受取配当金	4,730	4,815
補助金収入	10,000	10,000
その他	14,016	8,058
営業外収益合計	28,911	23,602
営業外費用		
支払利息	4,892	5,604
為替差損	2,488	45,077
その他	1,614	4,203
営業外費用合計	8,994	54,884
経常利益又は経常損失(△)	33,640	△23,790
特別利益		
投資有価証券売却益	22,363	—
役員退職慰労引当金戻入額	20,300	—
特別利益合計	42,663	—
特別損失		
固定資産売却損	16,743	—
固定資産除却損	0	253
特別損失合計	16,743	253
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	59,560	△24,043
法人税、住民税及び事業税	26,901	6,921
法人税等調整額	△15,261	△12,485
法人税等合計	11,640	△5,563
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,919	△18,479
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	47,919	△18,479

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,919	△18,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,280	△21,614
繰延ヘッジ損益	307	—
為替換算調整勘定	27,645	△130,957
退職給付に係る調整額	2,629	5,589
その他の包括利益合計	43,863	△146,982
四半期包括利益	91,782	△165,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,782	△165,462

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	962,222	751,794	1,714,017	79,137	1,793,154	—	1,793,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	962,222	751,794	1,714,017	79,137	1,793,154	—	1,793,154
セグメント利益又は損失(△)	131,136	△3,832	127,303	6,020	133,324	△119,601	13,722

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、無線モジュール、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△119,601千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	可変抵抗器	車載用電装 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	838,449	691,371	1,529,821	91,700	1,621,521	—	1,621,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	838,449	691,371	1,529,821	91,700	1,621,521	—	1,621,521
セグメント利益	120,375	35,512	155,887	7,998	163,886	△156,394	7,492

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、混成集積回路、生産設備・金型、各種スイッチ等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△156,394千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。